

令和 8 年度第 1 回 文化財講演会
「重要文化財指定記念 香取神宮文書とは何か？」

第1部 香取神宮文書の概要(基礎編 13:40～)

基調講演 「関東を代表する中世の古文書群—重要文化財「香取神宮文書」—

鈴木 哲雄 元都留文科大学教授、同大学院非常勤講師

はじめに

①香取神宮

- ・ 平安時代の『延喜式』神名帳では、伊勢が「大神宮」、鹿島・香取が「神宮」と呼ばれている。鎌倉時代から江戸時代には香取社とも。
- ・ 鎌倉時代には、下総国の一宮に位置づく。下総国守護千葉氏との結びつき
- ・ 香取神：経津主命（鹿島神＝武甕槌命とともに国家神）／梶取の神（内海の神）

→神幸祭(御船遊)の由来については：木村修氏の報告

②「香取文書」とは：香取神宮の社家に伝来した古文書群

- ・ 社家（含む社僧）：江戸時代には大宮司・大禰宜など 100 以上の神職（社家）
- ・ 幕末には、19 家ほどの社家に中世文書が伝来していた。

→幕末維新期の香取文書の調査と保存については：酒井右二氏の報告

③重要文化財「香取神宮文書」とは、現在、香取神宮が所蔵する「香取文書」

1 香取文書の全体像と重要文化財「香取神宮文書」

- A 香取神宮が所蔵するもの→本年度、重要文化財に指定（近世文書を含む）
- ・ 本所古文書（5 巻）
 - ・ 大宮司家文書（1 巻、新蔵文書）（一部、他に筑波大学・香取芳忠家所蔵など。多くが散逸）
 - ・ 録司代家文書（2 冊）（一部、他の 2 冊は船橋市西図書館所蔵）
 - ・ 源太祝家文書（6 巻・2 冊）
 - ・ 要害家文書（141 通）
 - ・ 孝明天皇祈願文書（1 巻）／他に司召など
- B 旧社家が所蔵するもの
- ・ 大禰宜家文書（15 巻・7 冊）：昭和 60 年に重要文化財に指定済み
 - ・ 案主家文書（7 冊）
 - ・ 分飯司家文書（1 帖・2 冊・他）：平成 5 年に県指定文化財
 - ・ 大神主家文書（1 巻・近世史料）
 - ・ 新福寺文書（17 通・写本 1 冊）
- C 散逸して他所に所蔵されているもの
- ・ 田所家文書（5 巻）：東洋文庫所蔵
 - ・ 録司代家文書（2 冊）：船橋市西図書館所蔵（既出）
 - ・ 新福寺文書（32 通）：「神崎町石井家」
- D 散逸して所在不明のもの
- ・ 大宮司家文書の大部分（神宮所蔵 1 巻＝7 通を除く 84 通ほど）
- *他に未確認の社家文書もあるか？

2 重要文化財「香取神宮文書」(A香取神宮が所蔵するもの)の内容

- ①本所古文書(5巻):明治初期に社家から奉納されたもの
 - *香取神宮の「社格」を証明するもの。多くは大宮司・大禰宜家から
- スライド:治承5年(1181)源頼朝寄進状/観応3年(1352)足利尊氏寄進状/社殿造営史料/永享2年(1430)長者宣/下総国司庁宣/下総国守護千葉氏
- ②旧社家から奉納、散逸した社家文書を神宮が購入、収集したもの
 - ・大宮司家文書(1巻) →スライド:嘉暦3年長者宣(物忌の亀松女宛)
 - ・源太祝家文書(6巻・2冊) →スライド:応安7年(1374)香取社神官等連署状(物忌について)/鎌倉初期・前神主大中臣知房解(香取宮印・国司外題あり)
 - ・録司代家文書(2冊) →スライド:文保元年(1317)12月6日付の売券・寄進状・譲状
 - *「ほまち」/「録司代僧」/徳政令→「売寄進」+譲状
 - ・要害家文書(141通)
 - スライド:元仁2年(1225)祝職安堵状(*「香取宮印」が5か所)/天福2年(1234)神職補任状(*「香取宮印」が7カ所)/文明5年(1473)香取津宮住人左近次郎売券(下人の売買)
- ③幕末の孝明天皇祈願文書(1巻10通) →スライド:嘉永6年(1853)の「夷類頻来」(ペリー来航等)に対する祈願。

3 関東を代表する中世の古文書群としての香取文書 *別紙「香取文書一覧」

- ①香取文書全体では「1,884点」(新旧の「千葉県史」所収)
 - 関東を代表する中世の古文書群である。
 - *国宝の金沢文庫文書は「4,149点」(他に多数の聖教)
- ②重要文化財「香取神宮文書」は、567通(附4通)
 - *重要文化財「大禰宜家文書」は、381通
- ③重要文化財「香取神宮文書」以外の香取文書の特徴
 - ・大禰宜家文書(15巻・7冊)
 - スライド:保元元年(1156)摂関家政所下文/至徳4年(1387)大禰宜長房譲状/応安7年(1374)海夫注文
 - ・案主家文書(7冊)
 - スライド:応永6年(1399)香取神領検田取帳・神畠検注取帳(2冊)
 - ・分飯司家文書(1帖・2冊・他)
 - スライド:至徳4年(1387)香取社神官等起請文/御祭古牒
 - ・大神主家文書(1巻・近世史料):正元元年(1259)香取大神宮符
 - ・新福寺文書(17通、写本1冊):(永禄3年1560ヵ)正木時茂禁制

おわりに

- ・文化庁による重要文化財答申の「説明」
- ・参考文献など

文化庁による重要文化財答申の「説明」（一部）

香取文書は、千葉県香取市に鎮座する香取神宮（香取社、以下「神宮」という）の十数家の旧社家等に伝来したものであり、大宮司家文書をはじめとした旧社家文書に大別される。このうちの香取大禰宜家文書は昭和 60 年に重要文化財に指定されている。香取神宮文書は、香取文書のうち、現在、神宮が所蔵する文書群である。（中略）

本文書を含む香取文書は、「関東中世文書の宝庫」とも称され、中世東国の文書群としては「金沢文庫文書」（平成 28 年国宝指定）とならぶ重要史料である。貞享元年（1684）の徳川光圀の調査を嚆矢として、江戸時代からその存在が知られていた。土浦の商人・国学者であった色川三中（1801～1855）による弘化 2 年（1845）から嘉永元年（1848）にかけての調査でほぼ全容が確認され、「香取文書纂」としてまとめられた。

明治時代には神宮により『香取文書纂』が刊行されている。戦後の中世史研究においてとくに重要視されてきた文書群の一つである。本文書は、明治維新後に大宮司家や大禰宜家等から納められて明治 18・19 年に成巻された本所古文書と、明治時代以降に神宮に入った大宮司家・源太祝家・録司代家・要害（検杖）家という四家の旧社家文書からなり、計 567 通を数える。香取文書では最もまとまった数の一括で、平安時代から明治時代までの幅広い時代の文書で構成されるが、鎌倉時代から室町時代の中世文書を主体とする。神宮の由緒や支配に関わる文書、公武の有力者が発給した文書、土地関係の文書等が多く含まれている。また、写も含まれるが、原文書と近い時期に作成されたものが多く、本文書の特徴となっている。（中略）

香取神宮文書は、中世東国史研究上の重要史料である香取文書のうち、最もまとまった数を有する文書群である。とくに神社史や地域社会史、経済史、法制史、古文書学研究上の貴重な史料が数多く伝存しており、学術的価値が高い。また、中世史研究のみならず、アーカイブス学上においても重要である。

【報告書、出版物、その他調査報告】

- ・『千葉県史料 中世篇 香取文書』千葉県、昭和 32 年
- ・『千葉県の歴史 資料編 中世 2（県内文書 1）』千葉県、平成 9 年
- ・財団法人千葉県史料研究財団編『千葉県史編さん資料 香取文書総目録』千葉県、平成 11 年
- ・『香取神宮史料調査報告書—中世文書・近世文書編—』佐原市教育委員会、平成 11 年
- ・鈴木哲雄『香取文書と中世の東国』同成社、平成 21 年
- ・科研費研究成果報告書『香取文書調査報告書 香取文書の文化財としての保存に向けた基礎的研究』（令和 6 年。2020 年度～2023 年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究代表者 鈴木哲雄）
- ・科研費研究成果報告書『香取文書調査報告書(2) 香取文書関係資料の文化財としての保存に向けた発展的研究』（令和 8 年。2023 年度～2026 年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究代表者 鈴木哲雄）

表1 香取文書一覧（『旧県史香取目録』所収の「香取文書一覧」を修正。『新県史』での収載分類に準じている。）

文書群名	現所蔵者	原本表題等	原本	和学	楓軒	色官	色稿	文纂	旧県	新県	備考
香取神宮	香取神宮	本所古文書（5巻） 香取神宮古文書写（4巻）	51 (70)	—	—	—	—	71	58	5 補1	本所古文書は、明治初期に大宮司家・大欄宜家・分飯司家・源太祝家などの社家から納入されたもの。
大宮司家	香取神宮 筑波大学	旧大宮司家文書（1巻） 香取文書（1巻）	7 8	71 ?	87	65	—	51	—	93	楓軒本「香取文書」87点のうち22点が欄木家文書。
	香取芳忠家 本宮雄之家	一紙もの 卷子1巻	12 2							12 2	
大欄宜家	旧大欄宜家 早稲田大学	香取古文書（13巻）・同 写（2巻）・冊子（7冊） 「諸国文書 三」	460 2	213	180	180	234	403	326	88 (2)	
録司代家	香取神宮・船 橋市西図書館	香取文書（4冊） 〈色〉香取古文書（完）	172	(7)	—	—	190 (10)	171	149	38 補4	『新県史』には、色川稿本「香取古文書 完」から8点を採録。
田所家	東洋文庫	香取田所文書（5巻）	89	—	—	—	105	108	—	97	
案主家	旧案主家	香取文書（7冊）	342	—	—	—	341	307	265	89 補1	『新県史』補遺の1点は、旧案56号の後欠部分を補訂したもの。
分飯司家	旧分飯司家	香取古文書（1帖）・ 冊子（2冊）	69	—	10	10	—	61	—	70	
物忌家	(不明)		—	—	—	—	25	20	—	25	
源太祝家 (北之内家)	香取神宮	香取旧社職源太祝家文 書（6巻）・冊子（2冊）	179	—	14	14	97	103	86	119	
要害家 (検杖家)	香取神宮	一紙もの（仮綴）	142	—	—	—	144	142	—	149	
	個人蔵	『旧県史』収載	10	—	—	—	—	—	10	—	『旧県史』収載の10点は香取神宮現蔵と重複しない。
西光司家	(不明)			—	20	20	—	—	—	16	楓軒本「香取文書」に「小林玄蕃所蔵」などとあるもの。
大神主家	旧大神主家	大神主家古文書（1巻）	3	—	—	—	—	—	—	3	『鎌倉遺文』に既収。
諸家雑集 分飯司 要害 孫大夫 惣検校 その他	〈色川稿本〉 (旧分飯司家) (不明) (不明) (不明) (不明)	「香取文書諸家雑集」	—	—	13 (13)	—	39 (15) (1) (3) (13) (7)	29		38 (14) (1) (3) (13) (7)	要害の1点は、「要害家」に既収。
新福寺	新福寺 個人蔵	一紙もの 『旧県史』収載	17 32	— —	— —	— —	101 (32)	91 (32)	32	72	新福寺現蔵の17点は『旧県史』収載と重複しない。 『旧県史』収載の32点は色川稿本に含まれる。
写本類	〈色川稿本〉	「香取古文書 完」 録司代 物忌 惣検校 その他	—	—	—	—	21 (10) (1) (4) (6)	—	—	5 — — — (5)	録司代の10点は、「録司代家」に既収。
	〈色川稿本〉	「香取検杖文書 三」					3			3	『新県史』に採録したが、香取文書ではない。
	〈賜蔵文庫本〉	「香取文書 二」								2	
	〈北之内蔵書〉	権介家 次郎神主家 六郎神主家 佐原欄宜家 分飯司家 孫大夫家								11 3 5 3 1 1	
	〈統群書類従 所収〉	西光司家 田所家								1 1	
合計			1595	284	324	289	1300	1557	926	958	
						1589				1884	

* 凡例：和学＝和学本、楓軒＝楓軒本「香取文書」、色官＝色川本「官本」、色稿＝色川稿本、文纂＝刊本『香取文書纂』、旧県＝『旧県史』、新県＝『新県史』

(拙著P.12・13)